



国営みちのく杜の湖畔公園

Michinoku Lakewood N.G.P

NEWS
RELEASE

東北の冬遊びを満喫

“かまくらまつり2017” 開催します！

平素より、当公園の管理運営にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。
みちのく公園では、平成29年1月20日(金)から2月26日(日)までの期間、東北の冬の風物を紹介する催しとして、今回で15回目となる「かまくらまつり2017」を開催します。

毎年大人気の「雪のすべり台」でのソリ滑り、かまくらの本場秋田県横手市と同形の「かまくら」を展示するほか、親子で楽しめるイベントも多数ご用意しています。

また、一足早く「春」が感じられる冬の時期に咲かせたチューリップ「アイスチューリップ展」もお楽しみいただけます。

◎毎年大好評のため、今回は期間を長く設定し開催します。(昨年15日間→今回33日間)

◎冬の時期に咲かせた「アイスチューリップ展」で、一足早く春を感じていただきます。

◎雪のすべり台・かまくら制作は1月18日(水)からを予定しています。

イベントの詳細につきましては、かまくらまつり案内チラシをご覧ください。

※毎週火曜日は休園日となります。



「かまくらまつり昨年の様子」

お問合せ先

国営みちのく杜の湖畔公園 みちのく公園管理センター

〒989-1505 宮城県柴田郡川崎町大字小野字二本松53-9

TEL: 0224-84-5991 FAX: 0224-84-5992

公園HP <http://www.michinoku-park.info>

担当/内山・神谷・太田・佐藤

ニュースリリース配信先

宮城県政記者クラブ
仙台市政記者クラブ
東北電力記者クラブ
仙南記者クラブ

かまぐらの規格・制作過程

「かまぐらまつり」は、特設会場2基、ふるさと村「本荘由利の家」1基の合計3基作ります。

かまぐらの基本規格

直径・高さ3.6m、壁厚60cm ※大人8人ほど入ることができる大きさです。

ダンプトラック(10t)15台強 140トン以上 ※40t/基当たり(約4~5台) ※9t/台当り



雪を笹谷峠より運搬



専用の型枠を組み立てます



型枠に雪を詰めます



雪を締め固め後型枠を外します



中に入る為の穴を掘ります



表面を綺麗に整え完成

【かまぐらの由来】

かまぐらとは、秋田県など日本の降雪地に伝わる小正月の伝統行事であり、雪で作った「家」(雪洞)の中に祭壇を設け、水神を祀ります。

一般には、伝統行事で作られるものに限らず、雪洞自体が「かまぐら」と呼ばれ、かまぐらの語源は、形が竈(かまど)に似ているから「竈蔵」であるとする説や、神の御座所「神座(かみぐら)」が転じたものであるとする説などがあります。

冬に咲かせた「アイスチューリップ展」

寒い冬の時期に開花するように、球根を特殊な方法で冷蔵して冬を疑似体験させ、開花時期を調整したチューリップを「アイスチューリップ」と呼んでいます。

気温の低い冬は花持ちが良く、開花時期が長くなることが特徴です。

本展示では11品種4千5百本のアイスチューリップを、彩の館内にて展示。一足早い“春の花園”をお楽しみいただくことができます。

